

■第4学年 題材ごとの観点別評価規準（例）

令和7年度 第4学年 図画工作科 評価規準

江戸川区立篠崎第五小学校

題材名	内容	題材の内容	学習のめあて		観点別評価規準		十分満足できると考えられる具体的な姿の例	主な材料・用具
いろいろ 絵の具研 究所	絵	身近なものを 使って絵の具遊 びをして、絵に 表す。	知	絵の具のいろいろな表し 方を工夫する。	知	身のまわりのものを使って絵の具遊びをしながら、つくり出した形や色などの感じがわかっている。	絵の具遊びに関心をもち、身のまわりのいろいろな用具を使って、絵の具でできることに気づいたり、思いがけない形や色をつくりだす学習活動に進んで取り組もうとしている。	絵の具、画用紙、歯ブラシ、ビー玉、ストロー、ぼかし網、段ボールなど
					技	身のまわりのものを工夫して使ったり、思いついた絵の具の使い方を試したりして、表し方を工夫して表している。		
			思	絵の具の新しい使い方から表したいことを考える。	発	思いがけない形や色などの感じや面白さからイメージを広げ、絵の具の新しい使い方を見つけ、どのように表すか考えている。		
					鑑	造形的なよさや面白さ、いろいろな表し方などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。		
			学	思いがけない形や色の美しさをたのしむ。	主	いろいろな用具を使って絵の具でできることに気づいたり、思いがけない形や色をつくりだす学習活動に進んで取り組もうとしている。		
はる はる はる絵	絵	折り紙、包装紙、布などを切って貼りながら、思いついたことを絵に表す。	知	材料の特徴を生かして、組み合わせを工夫する。	知	紙や布などを切ったり重ねたりすることから、形や色などの感じがわかっている。	紙や布などを切ったり重ねたりすることから、形や色や質感などの感じが十分わかるとともに、切る形や組み合わせ方、配置や構成などをよく考えて、表し方を工夫して表している。	画用紙、色画用紙、色紙、布、毛糸、包装紙、のり、接着剤、はさみなど
					技	材料を切って並べる、重ねるなど表し方を工夫して表している。		
			思	いろいろな材料の形や色、組み合わせから表したいことを考える。	発	いろいろな材料の形や色、質感などの違いやよさから表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。		
					鑑	材料の形や色、その組み合わせや構成のよさや美しさを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。		
			学	貼り絵に表すことをたのしむ。	主	材料の形や色の組み合わせや配置のよさや美しさを味わい、貼り絵に表す学習活動に進んで取り組もうとしている。		
紙バック でバックパ ク	工	四角い筒に棒材をつけた動く仕組みの動きを生かし、動くおもちゃをつくる。	知	仕組を生かして、飾りや動かし方を工夫する。	知	四角い筒と棒材を使った動く仕組みを動かす操作を通して、形や色などの感じがわかっている。	四角い筒と棒材を使った動く仕組みを動かす操作を通して、形や色などの感じがわかるとともに、テープや接着剤を適切に扱い、仕組の動きを確かめながら、動きに合わせて色紙の形や色、取り付け方を工夫してつくっている。	紙バック、割り箸、色画用紙、接着剤、セロハンテープ、ビニルテープ、カラーペン、はさみなど
					技	テープや接着剤などを適切に扱い、動きに合わせて色紙の形や色、取り付け方を工夫して表している。		
			思	仕組みから表したいものを考える。	発	仕組みの動きから表したいことを思いつき、どのように表すか考えている。		
					鑑	互いの作品で遊びながら、造形的なよさや面白さについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。		
			学	動かすと面白いおもちゃをつくることをたのしむ。	主	動く仕組みを生かしたおもちゃをつくる学習活動に進んで取り組もうとしている。		
むすんで つないで	遊	身近な場所に枝を結び付けたりひっかけたりして、思いついた活動をする。	知	枝の結び方やつなぎ方を工夫する。	知	身近な場所を使って枝をつなげ、思いついたことをする活動を通して、形や色などの感じがわかっている。	身近な場所を使って枝をつないでできた感じから思いついた始めのイメージを、場所と枝の組み合わせや枝のつなぎ方の工夫から、さらにイメージを発展させながら活動を考えている。	木の枝、麻ひも、ビニタイ、小刀など
					技	身近な場所を使って枝を結んだりひっかけたりつなげたりするなどして、手や体全体を十分に働かせ、活動を工夫してつくっている。		
			思	枝をつけた場所が変化する様子から、表したいことを考える。	発	枝と枝をつなげることでできる場所の変化をもとに活動を思いつき、どのように活動するか考えている。		
					鑑	造形的なよさやいろいろな表し方について感じ取ったり考えたりして、自分の見方や考え方を広げている。		
			学	枝を結んだりつないだりして、場所が変化することをたのしむ。	主	友達と協力して、枝を結んで場所を変化させる学習活動に進んで取り組もうとしている。		
木々を見 つめて	絵	木を見たり触ったりして、表したい木を見つけ、絵に表す。	知	木の描き方や色づくりを工夫する。	知	身近にある木々を見たり触れたりすることから木々の形や色、それらの組み合わせによる感じがわかっている。	身近にある木々の形や色、触れた感じなどをもとに、自分のイメージを豊かに広げ、表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。	絵の具、クレヨン、パス、カラーペン、鉛筆、色鉛筆、画用紙など
					技	色づくりや混色、筆使いなど、さまざまに試しながら、自分の思いや表したいことに合わせて、表し方を工夫して表している。		
			思	木から感じたことをもとに表したいことを考える。	発	身近にある木々の形や色、触れた感じなどをもとに自分のイメージをもちながら、表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。		
					鑑	自分や友達の作品のよさや面白さ、いろいろな表し方などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。		

■第4学年 題材ごとの観点別評価規準（例）

			学	お気に入りの木を描くことをたのしむ。	主	身近にある木々に関心をもち、自分なりの木を描く学習活動に進んで取り組もうとしている。		
自然の色 どんな色	鑑	自然が描かれた作家の絵を見て、形や色から感じ取ったことについて対話する。	知	作品のよさ、形や色の工夫に気づく。	知	身近な美術作品を鑑賞することを通して、形や色などの感じがわかってい	形や色などの感じをもとに、自分のイメージを豊かにもち、身近な美術作品の造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。	作品など
					技			
			思	作品の形や色から感じ取ったことについて考える。	発			
					鑑	身近な美術作品の造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。		
			学	互いの見方や感じ方のよさや違いを味わう。	主	つくりだす喜びを味わい、自然が描かれた美術作品を鑑賞する学習活動に進んで取り組もうとしている。		
つないで 組んで すてきな形	工	紙バンドを組み合わせて、使ったり飾ったりするものをつくる。	知	紙バンドの組み合わせ方やつなぎ方を工夫する。	知	紙バンドを触ったり加工したりする行為を通して、紙バンドの手触りや特徴、色などの感じがわかっている。	紙バンドを触ったり加工したりする行為を通して、紙バンドの手触りや特徴、色などの感じがわかるとともに、紙バンドでいろいろな加工を試し、ホチキスを適切に扱い、紙バンドの特徴を生かして加工し、組み合わせ方やつなぎ方を自分なりに工夫して表している。	紙バンド、ホチキス、はさみなど
					技	ホチキスを適切に扱い、紙バンドの特徴を生かして加工し、組み合わせ方やつなぎ方を工夫して表している。		
			思	飾ったり使ったりするものを考える。	発	形や色などの感じから飾ったり使ったりするものを思いつき、どのように表すか考えている。		
					鑑	自分や友達の作品の造形的なよさや面白さなどについて、感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。		
			学	飾ることや使うことを思い浮かべてたのしくつく	主	紙バンドの特徴を生かして使ったり飾ったりするものをつくる学習活動に進んで取り組もうとしている。		
お気に入りの形	立	粘土の形を変えながら、気に入った形を見つけて写真を撮ったり、つくり変えたりすることを繰り返し、立体に表す。	知	粘土を触ってできる形を工夫する。	知	粘土をさまざまな触り方をすることで粘土でできる形の感じが変わる特徴について、自分の感覚や行為を通してわかっている。	粘土をさまざまな触り方をして、粘土のよさを十分に味わい、何度もつくり変えながらお気に入りの形を探す学習活動に進んで取り組もうとしている。	土粘土、粘土板、タオル、カメラ、タブレット端末など
					技	表したいことに合わせて手や指、手のひらなどの使い方を工夫して表している。		
			思	気に入った形をたくさん見つける。	発	自分がお気に入りのだと感じる形のイメージをもちながら、さまざまな触り方や形を見つけ、どのように表すか考えている。		
					鑑	友達の作品からよさを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。		
			学	粘土の感触を味わいながら、つくり変えることをたのしむ。	主	粘土のよさを味わい、何度もつくり変えながらお気に入りの形を探す学習活動に進んで取り組もうとしている。		
ちかごろむ ちゅうです	絵	身近にあるたのしみを絵に表し、伝え合う。	知	夢中になっている様子が伝わるように表し方を工夫する。	知	身近な出来事を描くことを通して、形や色などの感じがわかってい	身近な出来事を描くことを通して、形や色などの感じがわかるとともに、これまでの描画材料の経験を生かして、伝えたいことに合わせて表し方を工夫したりして表し方を工夫している。	絵の具、クレヨン、パス、カラーペン、鉛筆、色鉛筆、画用紙など
					技	これまでの描画材料の経験を生かして、伝えたいことに合わせて表し方を工夫している。		
			思	生活の中から表したい場面を考える。	発	生活の中から絵に表したい場面を見つけて形や色などを生かしながら、どのように表すか考えている。		
					鑑	自分や友達の表したいことやいろいろな表し方を感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。		
			学	自分が夢中になっていることを絵に表すことをたのしむ。	主	身近にあるたのしみを絵に表す学習活動に進んで取り組もうとしている。		
小さく なって遊び にいこう	絵	小さくなって身のまわりのもので遊ぶ様子を想像して絵に表す。	知	身のまわりのもので遊んでいる様子が伝わるように表し方を工夫する。	知	身のまわりのものを見たり、それに触れたりしながら、形や色などの感じがわかっている。	身のまわりのものを見たり、それに触れたりしながら、形や色などの感じがわかるとともに、描画材料や方法をいろいろ試して、身のまわりのもので遊んでいる様子が伝わるように表し方を工夫している。	絵の具、クレヨン、パス、カラーペン、鉛筆、色鉛筆、画用紙など
					技	表したい様子が伝わるように、表し方を工夫している。		
			思	身のまわりのものの形や色などから遊びを考える。	発	小さくなった自分が身のまわりのもので遊ぶ様子を想像し、表したいことを思いつき、どのように表すか考えている。		
					鑑	友達のアイデアや表し方などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。		
			学	身のまわりのもので遊ぶ様子を絵に表すことをたのしむ。	主	身のまわりのものを見たり、それに触れたりしながら、身のまわりのもので遊ぶ様子を想像して絵に表す学習活動に進んで取り組もうとしている。		
			知	固めた布の形から思いついたものの表し方を工夫する。	知	材料で型を組んだり布や芯材に触れたりしながら、形などの感じがわかっている。	固まった布の形から、自分のイメージを広げ、表したい世界やものなどを思いつ	布、液体粘土、身近な材料、接着剤、絵

■第4学年 題材ごとの観点別評価規準（例）

どろどろ カッチン	立	布を液体粘土で固めた形を生かして、立体に表す。		する。	技	布や液体粘土の特性を生かして、布の形や固め方を工夫して表している。	き、いろいろな角度から見たりしながら、形や材料などを生かしてどのように表すか考えている。	の具、ペットボトル、プラスチックカップ、ビニル袋、トレイ、タオルなど
			思	固めた布の形から表したいことを考える。	発	固まった布の形から自分のイメージを広げ、表したい世界やものなどを思いつき、どのように表すか考えている。		
					鑑	いろいろな表し方などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。		
			学	固めた布の形から思いつくことをたのしむ。	主	液体粘土の感触を味わい、固めた布から思いついたものをつくる学習活動に進んで取り組もうとしている。		
直線と曲線から生まれる形	立	割り箸と竹ひごを組み合わせて、紙を貼って、思いついたものを立体に表す。	知	割り箸と竹ひごの組み合わせを工夫する。	知	割り箸と竹ひごを組み合わせることを通して、線と面の形などの感じがわかっている。	材料をつなげて立体をつくることから発想豊かに表したいことを見つけ、線と面の組み合わせによる形を生かしながらどのように表すか考えている。	割り箸、竹ひご、輪ゴム、モール、キッチンペーパー、洗濯のり、絵の具、トレイなど
					技	思いついたことに合わせて、つなげる、貼る、色を塗るなど、表し方を工夫して表している。		
			思	線と面を生かした形を考える。	発	材料をつなげて立体をつくることから表したいことを見つけ、線と面の形を生かしながらどのように表すか考えている。		
					鑑	線と面を組み合わせた構成と形、色のよさや美しさを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。		
わくわくランドで遊ぼう	遊	身近な場所を生かしてたのしい遊び場をつくる活動をする。	知	身近な場所を生かした活動を工夫する。	知	活動を通して、活動場所にある自然のものの形や色の感じがわかっている。	場所の特徴を生かして、自分のイメージをもったり友達とイメージを共有したりして、次々に活動を思いついたり、豊かに変化させたりしながら、どのように活動するか考えている。	段ボール、身近な材料や用具、布粘着テープ、養生テープなど
					技	見たり、触れたり、動いたりしながら、広さや起伏など活動する場所の特徴や、身近材料と組み合わせた感じを生かして活動を工夫してつ		
			思	学校にある場所や自然の材料を生かして、たのしく遊べるしかけを考える。	発	場所の特徴を生かして、自分のイメージをもったり友達とイメージを共有したりして活動を思いつき、どのように活動するか考えている。		
					鑑	アトラクションを互いに見せ合ったり遊んだりして、よさを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。		
学校もりあげますコット	工	学校生活を応援してくれたり手伝ってくれたりするマスコットをカラフル紙粘土で立体的につくる。	知	紙粘土に絵の具を混ぜてつくるカラフル粘土で、形や色を工夫する。	知	紙粘土に絵の具を混ぜてカラフル粘土をつくり、マスコットを表すことを通して、形や色などの感じがわかっている。	学校を盛り上げるマスコットをつくることに意欲的に取り組み、その場所にふさわしい形や色を工夫して表すとともに、校内のさまざまな場所に飾って見せ合い、伝え合う学習活動に進んで取り組もうとしている。	紙粘土、絵の具など
					技	表したいマスコットに合わせて、紙粘土の形や色を工夫して表している。		
			思	その場所にふさわしい形や色のマスコットを考える。	発	学校の場所やもの、学校生活での経験などからイメージを広げ、表したいものを思いつき、どのように表すか考えている。		
					鑑	自分や友達の発想、表し方の工夫や違いに気づき、見方や感じ方を広げている。		
本を開くとお気に入りの場面	工	本のお気に入りの場면을段ボールと軽量紙粘土などでつくり、みんなで伝え合ってたのしむ。	知	伝えたい場面に合わせて、つくり方を工夫する。	知	お気に入りの場면을表すことを通して、形や色、材料やその組み合わせなどの感じがわかっている。	表したい感じを表すために進んで材料や用具を工夫して、お話のよさを友達に伝え合う学習活動に進んで取り組もうとしている。	紙粘土、身近な材料や用具、段ボール、接着剤、絵の具、はさみ、カッターナイフ、カッターマット、粘土板、タオルなど
					技	表したい場面に合わせて、形や色、紙粘土や段ボールなどの使い方やつくり方などを工夫して表している。		
			思	お気に入りの場면을どのように表すか考える。	発	物語を読んで、思い浮かべたお気に入りの場面の様子や登場人物の気持ちなどから、表したいことを思いつき、物語の場面のよさを伝えるためにはどのように表すとよいか考えている。		
					鑑	友達の作品のよさや面白さ、いろいろな表し方などについて感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。		
飛び出すハッピー	工	友達や家族に伝える飛び出すカードをつく	知	飛び出す仕組みを生かして、表し方を工夫する。	知	飛び出す仕組みのカードをつくる活動を通して、紙の特徴から形や色などの感じがわかっている。	相手のことを考えてカードに表したり、友達と交流しながら思いを伝え合ったりすることで自分の思いをより深める学習活動に進んで取り組もうとしている。	カラーペン、色画用紙、画用紙、接着剤、はさみ、カッターナイフ、カッターマットなど
					技	飛び出す仕組みを生かし、表したいカードに合わせて形や色や組み合わせ方を工夫して表している。		
					発	贈る相手のことを思い浮かべて表したいことを思いつき、形や色、仕		
					鑑			

■第4学年 題材ごとの観点別評価規準（例）

カード		り、気持ちを伝える。	思	て、伝えたいことを考える。	鑑	組みを生かして、どのようにカードに表すか考えている。		
			学	カードをつくったり渡したりすることをたのし	主	互いのカードの工夫やよさに気づき、自分の見方や感じ方を広げている。		
						つくったカードで気持ちを伝える学習活動に進んで取り組もうとしている。		
ほった線からはじまるお話	絵・版	はじめに版木に彫刻刀で彫った線から広げたイメージを木版画に表す。	知	彫刻刀の使い方に慣れ、彫り方や刷り方を工夫する。	知	彫ったり刷ったりすることを通して、形や色などの感じがわかってい	彫ったり刷ったりすることを通して、インクのつけ方などの違いやよさを十分に理解し、彫刻刀を適切に扱い、表したいことに合わせて彫刻刀の種類や彫り方や刷り方などを試しながら工夫して表している。	版画インク、版画用紙、版木、彫刻刀、版画用具、滑り止め、新聞紙など
					技	彫刻刀を適切に扱い、表したいことに合わせて彫り方や刷り方などを試しながら工夫して表している。		
			思	彫ってできた線の感じから想像を広げ、表したいことを考える。	発	彫りでできる形や刷りの色などから自分のイメージをもち、表したい話を思いつき、どのように表すか考えている。		
					鑑	材料の形や色、その組み合わせや構成のよさや美しさを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。		
			学	彫刻刀で彫って、紙に刷ることをたのしむ。	主	版を彫刻刀で彫ったり、インクをつけて刷ったりする学習活動に進んで取り組もうとしている。		
紙の箱だいへんしん	工	切ったり、組み合わせたりして紙の箱を変身させ、表したいものを考えて飾りをつくる。	知	箱の切り方や組み合わせ方を工夫する。	知	紙の箱を切ったり組み合わせたりすることを通して、形や色などの感じがわかっている。	紙の箱を切ったり折ったり開いたりする活動を通して表したいことを見つけ、自分の表現を試行錯誤しながら振り返り、より自分らしくするためにどのように表すか考えている。	空き箱、画用紙、色画用紙、接着剤、両面テープ、カッターナイフ、カッターマット、はさみ、洗濯ばさみなど
					技	紙の箱の形や色、その組み合わせを、表したいことに合わせて工夫して表している。		
			思	切った箱の形や組み合わせた形から、つくりたい飾りを考える。	発	紙の箱を切ったり折ったりして形を変えながら表したいことを見つけ、形や色、材料などを生かしてどのように表すか考えている。		
					鑑	自分や友達の作品やその表現の過程などにおいて、造形的なよさや面白さ、表したいこと、表現の工夫などを感じ取り、自分の見方や感じ		
			学	箱を切って組み合わせることをたのしむ。	主	紙の箱を切って組み合わせる表現したり、作品を鑑賞したりする学習活動に進んで取り組もうとしている。		
へんてこ山の物語	絵	「へんてこ山」の形から想像してお話を考えながら、絵に表す。	知	表したいことに合わせて、描く材料を選び、形や色を工夫する。	知	「へんてこ山」を描くことを通して、形や色などの感じがわかってい	「へんてこ山」の形から豊かに想像を広げて、表したいことを思いつき、お話を描画材料を選んだり筆使いを工夫したりして、どのように表すか考えている。	絵の具、クレヨン、パス、カラーペン、鉛筆、色鉛筆、画用紙など
					技	描画材料を選んだり筆使いを工夫したりして、自分が考えた「へんてこ山」を工夫して表している。		
			思	思いついたへんてこな形からお話を考える。	発	へんてこな形から表したいことを思いつき、どのように表すか考えている。		
					鑑	自分や友達の「へんてこ山」のよさやおもしろさ、いろいろな表し方などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げ		
			学	へんてこ山を描くことをたのしむ。	主	描く喜びを味わい、想像の世界を絵に表す学習活動に進んで取り組もうとしている。		
カクカク板を組み合わせたら	工	のこぎりで切った板を組み合わせ、使ったのしいものをつくる。	知	板の組み合わせを工夫する。	知	のこぎりでいろいろな形に板を切ったり、切った板を組み合わせた	のこぎりでいろいろな形に板を切ったり、切った板を組み合わせた	板材、角材、接着剤、絵の具、紙やすり、のこぎり、クランプなど
					技	板を切ったり補助的な材料を組み合わせた		
			思	組み合わせた形からつくりたいものを考える。	発	切った板の形や組み合わせからイメージを広げ、つくりたいものを思いつき、どのように表すか考えている。		
					鑑	自分や友達の作品のよさや面白さ、いろいろな表し方などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。		
			学	板の組み合わせから、新しい形が生まれることをたのしむ。	主	板をさまざまな形に切り分けて自分のつくりたいものをつくる学習活動に進んで取り組もうとしている。		
みんなでたのしいだんボールランド	遊	段ボールと場所をもとに、友達と協力して活動をする。	知	段ボールの切り方や組み合わせ方を工夫する。	知	段ボールを切ったりつないだりして、形や色の感じがわかっている。	つくりだす喜びを味わい、自他のイメージを共有して友達と協力しながら段ボールと場所をもとに表す学習活動に進んで取り組もうとしている。	段ボール、布粘着テープ、段ボールカッター、はさみなど
					技	段ボールや段ボールカッターを適切に扱い、段ボールを組み合わせた		
			思	どんなだんボールランドをつくるか考える。	発	段ボールや広い場所などをもとに造形的な活動を思いつき、どのように活動するか考えている。		
					鑑	自分や友達の活動の造形的なよさや面白さについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。		

■第4学年 題材ごとの観点別評価規準（例）

			学	友達と力を合わせて段ボールで活動することをたのしむ。	主	つくりだす喜びを味わい、友達と協力しながら段ボールと場所をもとに表す学習活動に進んで取り組もうとしている。		
ゆめいろ ランプ	工	透明容器と光を通す材料を組み合わせて、ランプをつくってみんなで飾る。	知	ランプの材料や色の組み合わせを工夫する。	知	光を通す材料の形や色の組み合わせ方を試すことを通して、材料の形や色の感じがわかっている。	材料を透過する光のよさや影の形の面白さを十分に味わいながら、ランプをつくり、友達と協力してランプを飾る学習活動に進んで取り組もうとしている。	透明容器、光を通す材料、万能ばさみ、接着剤、LEDライト、段ボール箱、カッターナイフ、カッターマットなど
					技	用具を適切に使い、光を通す材料の形や色、その組み合わせ方などを表したいことに合わせて工夫して表している。		
			思	光を通した感じから、つくりたいランプを考える。	発	映る光の影の形や色、材料を切ったり重ねたりして想像したことなどから表したいことを見つけ、形や色などを生かしながら、どのように表すか考えている。		
					鑑	自分や友達の作品の造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方について、感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。		
			学	ランプをつくり、みんなで飾ることをたのしむ。	主	材料を透過する光のよさや面白さを味わい、ランプをつくって、みんなで飾る学習活動に進んで取り組もうとしている。		